



広報 — ご家族皆様でご覧ください —

ふたば

声かけ合おう双葉



3

災害版No.22 3月号
2013



表紙写真：伝統を絶やさない…双葉町ダルマ市

平成25年3月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課

双葉町



ダルマ市



江戸時代から続く新春恒例の双葉町ダルマ市が、1月12日、13日の両日、避難先のいわき市南台仮設住宅を会場に開催されました。

昨年に引き続き、双葉町消防団第二分団の有志の方々でつくる「夢ふたば人」(佐々木希久会長)が「古里の誇りを絶やさず、未来につなごう」と、県のサポート事業を活用して開催したものです。

両日も天候に恵まれ、会場にはダルマや食べ物などを売る露店がたくさん並び、県内外の避難先から訪れた人や地域の方々など大勢の人で賑わいました。

相馬妙見宮初発神社 高倉宮司様による
ダルマ市の開始を告げる神事



▲ダルマ市実行委員会
齊藤宗一会長あいさつ



▲全日本だるま研究会公式キャラクター山田のま
さんも来場しました。



◀双葉ダルマも店頭に



◀無病息災を願いダルマを買い求める人々





▲たくさんの出店が並びました。



▲南台仮設住宅自治会女性部の皆さんが甘酒を振るまいました。



▲レイモミ小野フラスクールの皆さんによるフラダンス



大道芸人の コーナー



▲三春ひょっとこ踊りが会場に笑いを振りまきました。



▲似顔絵コーナーが大人気

子どもたちの声や思い



ダルマ市が開催された2日間、いわき市南台応急仮設住宅に住む4人の小学生の声や思いをステージの上で発表しました。

いわき市立菊田小学校5年 ^{なみ え}浪江 ^{ゆう か}侑加さん



私の将来の夢は、看護師になることです。

私が看護師になりたいと思った理由は、3月11日の震災の時に困っている人や苦しんでいる人がテレビに映っていました。その映像を見て私は看護師になりたいと思いました。

ました。

看護師になったら、医師のサポートをしっかり行い、患者さんの診察や問診の際の補助を行ったり、患者さんが安心して入院生活を送れるように、日常の援助や看護をしたいです。もしも、災害が起きて大きなケガをした人や病気で苦しんでいる人たちがいたら、すぐに助けたいと思います。

いわき市立菊田小学校5年 ^{この の}紺野 ^{のぞ み}希美さん



将来の夢は、病気やケガをしている動物を助けられる獣医になることです。

動物は人の心を癒してくれる大切な存在だから、病気やケガをした動物を助けてあげたいです。

動物はいろいろな病気があるので、たくさん勉強をしなければならないけれど、獣医になったら、どんな病気も絶対に治せるようにがんばります。

いわき市立菊田小学校5年 ^{いしはし}石橋 ^{すず か}涼香さん



双葉町の思い出は桜の花です。桜の花は双葉町の町の花です。春になると桜の花がとてもきれいに咲いていました。それから大切な思い出は友達です。震災が起きて友達と離れ離れになってしまいとても寂しいです。

いつかは双葉町にもどって友達とまた一諸に遊びたいです。

いわき市立菊田小学校4年 ^{さ さ き もとひさ}佐々木心久くん



ぼくの将来の夢は薬剤師になることです。薬剤師になって、病気の人に効く薬を作って助けてあげたいです。

それから、放射能をなくす薬を開発して、早く双葉町に帰ることができるようになりたいです。

震災でバラバラになってしまった友達とまた一緒に遊びたいです。



南台仮設住宅内のサポートセンターひだまりには、利用者の方々の手芸品の力作が飾られ、たくさんの来場者でにぎわっていました。また、復興・福島のダルマ展も開催されていました。



元気いっぱい

子ども神輿



威勢よく

ダルマ神輿



双葉町の祭り・イベント事業補助金のお知らせ

本事業は、地域コミュニティの推進と双葉町の活性化及び町民の連帯感を醸成するために開催される祭り・イベント事業に要する経費に対し補助金を交付するもので、双葉町民が概ね5人以上で構成され、規約等を制定し組織として成り立っている団体が実施する事業に対し事業費の一部（最高20万円を限度）を補助いたします。「ふるさと双葉未来へ繋げる in南台」がこの補助事業として実施されました。

平成25年度も実施いたしますので、祭り・イベント等をご検討されている方は、ご連絡ください。

【問い合わせ先】 埼玉支所産業振興課 商工観光係
☎ 0480-73-6880(代)



▲「無病息災、商売繁盛、復興祈願」と威勢のいい掛け声でダルマ神輿が会場内を練り歩きました。

第23回 双葉町芸能発表会

横山久勝会長



1月13日にはダルマ市特設ステージにおいて「第23回双葉町芸能発表会」が開催されました。それぞれの避難先から会員の皆さんが集まり、舞踊、民謡、フラダンス、コーラスなど多彩な演目が発表されました。

双葉町芸術文化団体連絡協議会 横山久勝会長は「昨年は東日本大震災及び原発事故により発表会を開催することができませんでしたが、本日、ダルマ市実行委員会、夢ふたば人の皆さまをはじめたくさんの方々のお力添えにより双葉町伝統のダルマ市で芸能発表会を開催できることを大変うれしく思います」とあいさつされ、会場からは大きな拍手が送られました。

志賀富江さん（山田）



中野三夜子さん（鴻草）



白石琴子さん（寺松）



▲いつも変わらない澄んだ歌声 コーラスふたば



▲息の合った演奏 JAふたば大正琴教室



▲軽快な歌と踊り 双葉町民謡同好会



▲会場の皆さんに幸せを運ぶ大黒舞 双葉町民謡同好会



▲ハワイアンのリズムに合わせて 双葉フラレディーズ

離れていても
心はひとつ



▲素晴らしい歌声 カラオケJOY・joy (ジョイ・ジョイ)
作山百合子さん (下条)



▲心に響く演奏 標葉せんだん太鼓保存会



特別出演



特別出演として双葉町婦人会（中村富美子会長）の勇壮な相馬流れ山踊りを、埼玉県立南陵高等学校2年の大川義秋さん（下条）が見事な箏の演奏を披露し、華を添えました。

最後には全員で大きな輪になってふたば音頭を踊り、会場からは喜びの声と惜しめない拍手が送られました。



井戸川克隆町長が退任

2月11日をもって退任された井戸川克隆町長の退任式が、2月7日、双葉町埼玉支所において行われました。

井戸川町長は、平成17年の就任以来、財政再建に取り組み、平成23年度は明るい見通しがつくと思っていた矢先の東日本大震災、福島原子力発電所の事故による避難などを振り返り、職員に対して「誠意を持って努力すれば必ず道が開ける。全国に避難している町民のことをいつも忘れずに一致団結して町の再生を図ってほしい。知恵

と工夫で困難な状況におかれている町民を救ってほしい。双葉町の安寧と復興をお祈りするとともに、職員の皆さんが健康で職務に精励されることを願っています」とあいさつしました。

続いて、井上一芳副町長が職員を代表して井戸川町長の7年2カ月の功績を振り返り「双葉町民7000人の舵取り役としてご指導いただき、優れた経済観念と卓越した経営感覚を発揮され、予算が組めないほどの非常に厳しい財政状況の中、町財政の立て直しに努

めていただいた。

また、人材の育成を目指し、幼児教育を充実させ、教育振興基本計画を策定。町興しでは6次産業による町活性化のために特産品の開発及び販路促進事業、自立と協働の町づくりの第4次総合計画を策定し、希望に満ちた23年度を迎えるはずだった。3月11日の東日本大震災、原発事故の発生時にはいち早く災害対策本部を立ち上げ、避難所の確保に努め、町民を避難させ、自らは1号機の爆発の放射能を浴びながら避難誘導にあたった。前例のない困難な課題に寝食を忘れ立ち向かっていただいた。町民の健康を第一に考え、健康手帳の交付や被ばく問題に取り組み、ジュネーブの国連会議で訴えた。退任されることは職員にとって大きな目標を失い非常に残念。町長にご指導いただいたことを忘れずにしつかりと仕事をしていきたい」と送別の言葉を送りました。

続いて、女子職員から花束の贈呈があり、職員や大勢の町民が拍手で見送る中、一人ひとりと握手をして埼玉支所を後にしました。



▲職員や大勢の町民の方々に見送られて埼玉支所を後にする井戸川町長

東日本大震災犠牲者追悼献花台の設置について

平成23年3月11日の大津波により犠牲となられた方々、そして、福島第一原子力発電所の事故による避難先で亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りするため、右記のとおり、追悼の献花台を設けますので、お参りいただきますようご案内いたします。

なお、震災発生の午後2時46分に黙とうをささげたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

○献花台の設置日時

3月11日(月) 午前10時～午後3時

※自治会の都合により時間帯は異なります。献花台は集会所または談話室となります。

○献花台設置場所

福島市内	2カ所	福島市さくら・福島市北幹線第二仮設住宅・
郡山市内	4カ所	福島支所・郡山市富田町 郡山市喜久田 郡山市日和田応急仮設住宅
白河市内	1カ所	白河市郭内第一応急仮設住宅
いわき市内	1カ所	いわき市南台応急仮設住宅
会津若松市内	1カ所	会津若松市第二中学校応急仮設住宅
猪苗代市内	1カ所	猪苗代町上川原応急仮設住宅
加須市内	1カ所	埼玉支所

【問い合わせ先】

福島支所総務班
埼玉支所

☎024-973-8090(代)
☎0480-73-6880(代)



中田地区総会・交流会

1月8日、9日、一泊二日の日程でいわき市塩谷崎のホテルにおいて中田地区の総会と新年会を兼ねた交流会が開催されました。

それぞれの避難先から23人が参加し、久しぶりの再会を喜び、旧交を温め合いました。

初めに、震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り、黙とうがささげられました。

総会では中村希雄区長のあいさつに続き、震災前に行われた行事などの報告や会計報告がありました。役員については、引き続き現体制でいくことが承認されました。また、今回参加できなかった方のためにも定期的に総会に合わせて交流会を開催することなどが決められました。

交流会では、地域の皆さんの安否を確認し合うとともに、震災時の状況や避難先のこと、懐かしい中田地区の思い出や近況などについて食事をとりながら語り合いました。

これからも長年にわたって築き上げてきた中田地区のコミュニティを維持していくことを誓い合い、また会う日まで元気でいることを約束し、別れを惜しみながらそれぞれの避難先へと帰っていきましました。

双葉・大熊町合同交流サロンのご案内

みなさんでお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、レクリエーションなどを通して、心と体のリフレッシュをしませんか。

借上げ住宅に住んでいる方など、いわき市にお住まいの方であればどなたでも参加できます。

乳児スペースもありますので、お気軽にご参加ください。

日 時：3月12日（毎月第2火曜日）
午後1時30分～3時

場 所：タウンモール・リスポ2階
いわき市小名浜蛭川南5-6
☎ 0246-92-4298

内 容：茶話会、健康に関する講話、体操、
その他創作活動など

【問い合わせ先】

福島県相双保健福祉事務所 いわき出張所
☎ 0246-24-6118

医療費一部負担金等 免除期間の延長について

【双葉町国民健康保険・後期高齢者医療保険 にご加入の方】

医療費一部負担金等免除期間が平成26年2月28日まで延長されましたので、有効期限の切れていない免除証明書と被保険者証を医療機関の窓口で提示してください。

なお、国民健康保険にご加入の方につきましては、被保険者証の更新と併せて、有効期限を平成26年2月28日まで延長した免除証明書を3月末頃に送付いたします。

【社会保険等にご加入の方】

医療費一部負担金等免除期間の延長等については、ご加入の医療保険の保険者にご確認ください。

【問い合わせ先】健康福祉課 国保年金係
☎ 0480-73-7835

平成25年度 双葉町奨学生募集

平成25年度の双葉町奨学生を次により募集します。

◇申し込み資格

- ・高等学校（高等専門学校を含む）、専修学校、大学、大学院に在学する者または平成25年度入学予定者。
- ※職業能力開発促進法に基づく学校等を含む。
- ・前項の学校等に入学するまでの間、保護者とともに双葉町に5年以上住民登録をしていること。
- ・経済的理由により修学困難と認められること。
- ・国、県またはほかの団体から同種類の奨学資金の貸与または給与を受けていないこと。

◇貸与期間

在学校の正規の修業期間

◇貸与額（月額）

- ・高等学校（高等専門学校を含む）…… 15,000円
- ・専修学校…………… 20,000円
- ・国、公立大学…………… 35,000円
- ・私立大学…………… 40,000円
- ・大学院…………… 40,000円

◇返還の方法

- ・卒業月の6ヵ月後から10年以内に、奨学資金の

全額を半年賦で返還していただきます。希望により一括返還することもできます。

- ・利子は無利子です。

◇申し込み手続き

・申込受付期間

4月1日(月)から5月10日(金)まで

ただし、家計の急変等により緊急に奨学資金を必要とする場合は、受付期間を過ぎても採用しますので、双葉町教育委員会教育総務課までご相談ください。

・申請書の提出場所

双葉町教育委員会教育総務課（埼玉支所内）
福島支所住民生活班

※双葉町教育委員会教育総務課においては郵送での受け付けも行います。

※申し込みを希望される方は、3月1日(金)から双葉町教育委員会教育総務課及び福島支所において申請書類を交付します。また、電話での依頼により申請書類の郵送も行いますので、下記へご連絡ください。

【問い合わせ先】双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0480-73-6843

昭和58年4月～昭和59年3月生まれで **平成11年度双葉中学校卒業生の皆さまへ**

同窓会のお知らせ

日 時：4月27日(土) 午後6時～

場 所：スパ・リゾートハワイアンズ（いわき市）

会 費：同窓会のみ参加…1万円程度

宿泊込み… 1万8千円程度

申し込み期限：3月10日(日) ※期限厳守

○同窓会のみ参加の方は、ハワイアンズ入場券、宿泊込みの方にはハワイアンズ入場券並びに宿泊券がついています。（宿泊の部屋は、4、5人で一部屋となります）早目に来場してハワイアンズを満喫することも可能です。

○横浜、東京、新宿、さいたま新都心各駅から宿泊の方対象のシャトルバスが出ています。こちらの予約に関しては資料をお送りしますので、出席される方は各自申し込みをしてください。

○連絡は右記のメールアドレスに氏名、連絡先（メールアドレス、電話番号）現住所、出欠の有無（出席される方は同級会のみ参加か、宿泊込みの参加）等をお知らせください。

○平成11年度双葉中学校卒業生（今年30歳）のいるご家族の方は、同窓会の件をお伝えいただけると幸いです。

＜同窓会実行委員＞

山口俊介、佐藤祐司、
遠藤（折橋）麻衣子、横山友絵

＜連絡先＞

・南小出身の方

yamanet@k6.dion.ne.jp(山口まで)

・北小出身の方

free.of.my.style@gmail.com(佐藤まで)

双葉地方水道企業団からのお知らせ

－ 事務所移転について －

平成25年4月1日(月)より、楢葉町の小山浄水場管理本館へ事務所を移転いたします。

これにより、連絡先が下記のとおり変更となります。

新住所：〒979-0515

楢葉町大字上小埜字小山6-2

☎0240-25-5315(代)

【問い合わせ先】

双葉地方水道企業団災害対策本部

☎0246-23-6751(代)

いわき地区 借り上げ住宅 自治会設立総会



総会では、自治会の名称を「いわき・まごころ双葉会」と満場一致で承認されました。続いて竹原天さんより役員について発表があり、会長には岡田常雄さん（三字）、副会長に木幡智清さん（長塚一）

1月19日、いわき市保健福祉センターにおいて、いわき地区借り上げ住宅自治会設立総会が開催され、いわき市やいわき市周辺地区の借り上げ住宅等に住んでいる80世帯120人が参加しました。総会に先立ち大橋庸一さんから総会までの経過報告や発起人会で検討された自治会の名称、規約について説明されました。



岩川ヨシ子さん（長塚二）が選出されました。岡田会長の就任あいさつの後、井戸川克隆町長、齊藤宗一いわき南台仮設住宅自治会長から来賓のあいさつがありました。

いわき・まごころ双葉会は、双葉町からいわき市及び周辺に避難する住民の絆と融和を深め、さらには、故郷、双葉への帰属意識を持つて連携し、地域になじみ、あわせて相互扶助を目的としています。事業としては、会員相互扶助、協調に関する情報の収集と発信、関係機関及び団体との連絡調整などを行っています。

参加された皆さんは、情報交換を行い、絆を深めていくことを誓いました。

笑いの出前 笑涯楽集口座

ひやくしょう いっ き
ユーモアセラピスト **百笑溢喜講演会**
(いわき市 植松泰宏氏)

日時：3月31日(日) 午後1時～

場所：いわき市保健福祉センター
いわき市内郷高坂町四方木田191

☎ 0246-27-8555

引越相談所 開設のお知らせ

引越シーズンのピークとなる3月・4月の2カ月間、トラック事業者の団体である福島トラック協会では、県内7カ所で「引越相談所」を開設し、電話等による引越し等の相談に応じています。

緑ナンバーのトラックを利用した引越や引越に伴う種々のサービスについてお困りのことがありましたら、最寄りの「引越相談所」へご相談ください。

<引越相談時間帯>

電話での相談 午前9時～午後4時
(土・日・祝日を除く月曜日から金曜日まで)
ファクシミリは終日受け付けています。

<参考事項>

- ①3月・4月は引越シーズンのピークです。緑ナンバーの予約は早めにしましょう。
- ②引越は下見（無料）、見積もり（無料）を的確に行うことが重要です。

<引越相談所の連絡先>

- ①福島市 福島県トラック協会 本部
☎ 024-558-7755 FAX 024-558-7731
- ②福島市 福島県トラック協会 県北支部
☎ 024-573-8755 FAX 024-573-8756
- ③郡山市 福島県トラック協会 県中支部
☎ 024-963-0780 FAX 024-963-0781
- ④白河市 福島県トラック協会 県南支部
☎ 0248-27-3644 FAX 0248-22-3687
- ⑤会津若松市 福島県トラック協会 会津支部
☎ 0242-24-4855 FAX 0242-25-2199
- ⑥相馬市 福島県トラック協会 相双支部
☎ 0244-37-3070 FAX 0244-37-3071
- ⑦いわき市 福島県トラック協会 いわき支部
☎ 0246-58-8223 FAX 0246-58-8255



喜びの再会

— 下羽鳥地区 —

昨年の12月8日、郡山市内のホテルにおいて、避難先から49人の方々が集い、「下羽鳥交流会」が開催されました。

震災後、約1年9カ月ぶりの再会であり、お年寄りの方々も家族と一緒に参加されました。

初めに世話人代表の阿部利一さんがあいさつをし、続いて来賓として松本秀男羽鳥行政区長があいさつをしました。

近況報告では、参加者から、それぞれ避難した経路や現在の生活などについて話がありました。また、世話人代表から今回参加できなかった方々の消息や下羽鳥地区の現在の様子についても報告がありました。

食事をしながらの懇親会では、久しぶりの再会を喜び合ったり、家族と離れ離れの避難生活と先の見えない状況に涙したりする姿が見られました。話は尽きず、下羽鳥地区の良さを改めて実感しながら懐かしい思い出を語り合いました。

今回は、今年の10月下旬頃にいわき市を会場に交流会を開催することを決め、また会う日まで元気でいることを約束して別れを惜しみながら、それぞれの避難先へと帰っていきま

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、資金・事業の紹介などをわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

3月の日程は右記のとおりです。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます。(携帯電話のパケット料金にはご注意ください)

※時間：午前10時～午後3時

3月7日(木)	三春貝山多目的運動公園管理棟 (葛尾村役場三春出張所)
3月7日(木)	いわき明星大学 大学会館2階 (楡葉町役場いわき出張所)
3月14日(木)	郡山市南一丁目応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)
3月15日(金)	二本松市平石高田第二工業団地内 (浪江町役場二本松事務所)
3月22日(金)	会津若松市扇町応急仮設住宅集会所 (大熊町仮設住宅)

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0246-24-6044
FAX 0246-24-6142

県北地区借り上げ住宅 自治会交流会



1月21日、22日の一泊二日の日程で、双葉町県北地区借り上げ住宅自治会（県北ふたば会）の交流会が飯坂温泉のホテルで開催され、30人の方々が参加されました。

県北ふたば会は、会員相互の協調や協働による地域づくり、双葉町や関連団体との連携強化などを目的に昨年の10月に結成されました。発足後まだ日が浅いことから、顔合わせを兼ねた新年会を企画したものです。

交流会では、鴻埼太郎自治会長が「避難生活はまだまだ続くと思いますが、困難に負けないで会員同士助け合い、ともに頑張りましょう」とあいさつをしました。

会員の皆さんは食事をとりながら楽しく語り合い、連絡先などの情報を交換しました。

県北ふたば会には山形県に避難している方も加入でき、毎月1回程度の集会が行われています。



にこにこサロン を開催します

平成24年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、毎月1回次のように仮設住宅等において開催予定です。

おおむね65歳以上の方を対象に、「にこにこ体操」や「折り紙」、「脳トレゲーム」、「ぬり絵」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

平成25年 3月 福島県内仮設住宅 開催予定日

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
(いわき市) サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 0246-38-7105 (事務所)	3月5日(火) (毎月第1火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 富田仮設住宅	郡山市富田町字町田11-15 080-6290-5927 (高野)	3月26日(火) (第4火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 喜久田仮設住宅	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 080-6290-5927 (高野)	3月7日(木) (第1木曜日)	
(白河市) 白河仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5930 (芹川)	3月14日(木) (第2木曜日)	13:30~15:30
(福島市) さくら仮設住宅	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941 (林)	3月12日(火) (第2火曜日)	13:30~15:30
(福島市) 平野仮設住宅	福島市飯坂町平野字内小原田8-1 080-6290-5941 (林)	3月21日(木) (第3木曜日)	13:30~15:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター(介護予防事業所)
☎ 080-6033-1199(古室)



お惣菜を使ったアレンジ

スーパーやコンビニに行くと、すぐに食べられるお弁当やお惣菜がたくさん並んでいます。時間のないときや疲れてしまったときだけでなく、おでんやサラダ、煮豆などひとり分を用意するのが難しいメニューを食べたいとき、とても便利です。買って食べることを中食（なかしょく）といい、かつては高カロリー、高塩分なものが多かったのですが、利用者が増えるにしたがって、ヘルシーなものも増えてきています。

しかし、実際に買うとなると、ついつい好きなものばかりや同じものを選んでしまいがちです。お弁当には、ご飯とめんをセットにしたものや、いなりずしやのり巻などご飯のみのものもあります。まずは、食事と同じように主食（ごはんやめん）、主菜（肉、魚、卵などを使ったメインのおかず）、副菜（野菜のおかず）がそろっているかを確認しましょう。

おにぎりやパンには、お惣菜やサラダ、野菜ジュースやヨーグルトを組み合わせます。また、菓子パンは、カロリーが高いものが多いので、小さめのものを買うか半分ずつ食べるようにしたいです。

こうした市販のお惣菜はしっかりと味がついているので、食材を加えてカサを増やしてカロリーや塩分を減らしたり、料理のバリエーションをつけるのも簡単です。

お弁当の選び方

一単品メニューよりも、お弁当を一丼物、パスタなどは、見ためよりも高エネルギーなので、幕の内弁当など、ご飯とおかずが分かれていて、おかずの量が分かりやすいものがおすすめです。

※できるだけ揚げ物の入っていない野菜たっぷりのものを選びましょう。

とんかつ弁当	幕の内弁当	唐揚げ弁当	ハンバーグ弁当
900kcal	750kcal	850kcal	800kcal
かつカレー	オムライス	ミートソーススパゲティ	うな重
950kcal	740kcal	750kcal	800kcal
ツナマヨおにぎり	ミックスサンド	カレーパン	メロンパン
210kcal	300kcal	400kcal	460kcal

（惣菜） きんぴらごぼうを使った炊き込みご飯

- （材 料） 米 2合
きんぴらごぼう 1 パック（約200g）
- （準 備） 米は洗って浸水しておく。水加減は炊飯器の目盛のとおりでよい。
きんぴらは食べやすいように、長さを3～4等分に切っておく。

（作り方） きんぴらを加えて、普通に炊く。

（惣菜） きんぴらごぼうを使った煮物

- （材 料） しらたき 120g
きんぴらごぼう 1/2パック（約100g）
- （準 備） しらたきは食べやすい大きさに切り、下ゆで^(※)してざるにとる。
※しらたきを水から入れて火にかけ、沸騰したら約2分ゆでる。
- （作り方） 鍋に水（50cc）、だしの素（少々）、酒（大さじ1）、きんぴらを加え、火にかける。
煮立ったらしらたきを加え、3～4分煮る。

（参考） きんぴらごぼうの手作りレシピ



- （材料） ごぼう 1/2本（80g）
にんじん 1/4本（40g）
だし 50cc
酒・しょうゆ 大さじ1
砂糖 大さじ3/4
一味唐辛子 少々

（準備） ごぼうは5cm長さの細切りに、人参も同じくらいの大きさに切る。

（作り方） ①フライパンにサラダ油、ごま油を熱し、ごぼうを入れて炒める。少し透き通ってきたら（約1、2分）、にんじんを加えて炒める（約1分）。
②だし、酒、しょうゆ、砂糖、唐辛子を加える。煮立ったら弱火にし、汁気がなくなるまで炒め煮にする。



おもいやり駐車場利用制度

おもいやり駐車場とは…

スーパー、病院、公共施設などには、歩行が困難な「障がい者、要支援高齢者等、妊産婦」などが車を停めるためのスペース（車いすマークのある駐車場）が設置されていますが、このスペースを必要としない方々の心ない利用により、「必要としている方が必要としている時に」利用できない場合が多くあります。

この「おもいやり駐車場利用制度」は、上記のような状況を少しでも改善し、**歩行が困難な方々の駐車スペースを確保するための制度です。**

注：「おもいやり駐車場利用証」は、平成22年4月19日から各都道府県公安委員会が実施している「高齢運転者等専用駐車区間」では使用できません。

申請方法

○交付申請書に確認書類を添えて、申請受付・交付窓口へ提出してください。

○郵送による申請の場合は、交付申請書に確認書類の写しを添付してください。

※交付申請書は、申請受付・交付窓口へ備え付けてあります。また県のホームページでも入手することができます。

申請受付・交付窓口

・福島県庁保健福祉部高齢福祉課	☎ 024-521-7197
・県北保健福祉事務所保健福祉課	☎ 024-534-4156
・県中保健福祉事務所保健福祉課	☎ 0248-75-7808
・県南保健福祉事務所保健福祉課	☎ 0248-22-5478
・会津保健福祉事務所保健福祉課	☎ 0242-29-5272
・南会津保健福祉事務所保健福祉課	☎ 0241-63-0305
・相双保健福祉事務所保健福祉課	☎ 0244-26-1133
・いわき地方振興局県民部福祉課	☎ 0246-24-6204

※この他、各市町村、障がい者団体でも申請受付を行っています。

利用対象者

交 付 基 準				確 認 書 類
区 分			対 象 等 級	
身 体 障 が い 者	視覚障がい		4 級以上	身体障害者手帳
	聴覚	平衡機能障がい	5 級以上	
	肢体不自由	上肢	2 級以上	
		下肢	6 級以上	
		体幹	5 級以上	
	脳原性の運動機能障がい	上肢機能	2 級以上	
		移動機能	6 級以上	
	心臓機能障がい		4 級以上	
	じん臓機能障がい			
	呼吸器機能障がい			
	膀胱または直腸機能障がい			
	小腸機能障がい			
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がい			
	肝臓機能障がい			
知的障がい者				A（最重度・重度）
精神障がい者			1 級	
要支援高齢者等			要支援 1 以上	
難病患者			特定疾患医療受給者	
妊産婦			妊娠 7 カ月 ～産後 3 カ月	
けが人			車いす、杖等使用期間	

【問い合わせ先】福島県庁保健福祉部 高齢者福祉課（長寿社会担当） ☎ 024-521-7197



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介します



前田の大杉を偲んで

袖原 秀康（三字）

拝啓

「前田の大杉」様 元気ですか。

あなたは手元の神社を見守り続け、千年有余を
生き抜いて来ましたね。

何も語らず、いつも集落を見まわしていましたね。

私が幼い頃、あなたの大きな太い胴っばらに隠
れた「かくれんぼ」

あなたに見守られた数しれない人たちは、あなた
もご存じのとおり日本全国に散らばりました。

あっ、それから思い出しましたが、前田稲荷の
初午祭では、下で火を燃やすので、煙くはなかつ
たですか。

いつも、家内安全、無事帰還、手元の社にお願
いしてください。

毎年の盆踊り、見せてやれずに申し訳ありませ
ん。いつか、まとめてご披露したいと思っています。

私ども、あなたの下を引き離されてから、まも
なく2年になろうとしています。周り一面、草ぼ
うぼうで、むさ苦しいでしょうが、まだまだがん
ばって病気などにならないように長生きしてくだ
さい。

立春も過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きそ
うです。

本格的な春到来の祈りは、万丈の新芽を吹かす
よう遠く離れた埼玉よりお祈りいたします。

また、おたよりします。

敬 具

村田 行弘（郡山）

・大空や 当て無き旅の 冬帽子
・白い息 ぼんやり見える 青い星
・天空や 白く輝く 鶴の群

松木 清秀（羽鳥）

・町民の和と 親しみ深き 双葉の里を
われは忘れず 小峰を仰ぐ
・新たな年を 避難先で迎え
双葉恋しさ しみじみと知る

遠藤 シゲヨ（長塚二）

・群れ雀 田圃めぐりの 冬日和
・六次帰宅 いつまで続く 冬桜
・鮫鯨に 切干し和える 故郷の味

藤田 博司（下条）

・雪の枝 蹴って小鳥が 飛びにけり
・朝霧よ 無念のすべて 埋めつくせ
・青空に つきささりおり 冬木立

森 正夫（新山）

・避難して 家族別れの 二度の冬
・ふる里に 後何年の 寒椿
・避難所を 離れて一人 流れ星

関根 初巳（長塚二）

・訛りまだ 残りし冬の 目高かな
・故郷育ち 嫁が剥きたる 柿のれん
・餅つきや 女将の白い 割烹着

避難生活が続く中、全国に避難されている町民の皆さまの声を「双葉の風だより」のコーナーで紹介するため、皆さまからのお便りを募集しています。

現在の生活の様子、避難先の地域のこと、町民の皆さまに伝えたいことなどなんでも結構ですので、皆さまの声をお寄せください。

【問い合わせ先】

秘書広報課 秘書広報係
☎ 0480-73-6880(代)



浪江消防署からののお知らせ

3月1日(金)から7日(木)まで 春の全国火災予防運動です



春先は空気が乾燥し、強い風が吹く日が多くなるなど、火災が発生しやすい季節となります。

火災が発生させないために、日頃から火災予防を心がけてください。

習慣

- ・寝タバコは、絶対にやめましょう。
- ・暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使いましょう。
- ・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。



対策

- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用しましょう。
- ・家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう。

<問い合わせ先> 浪江消防署 富岡消防署川内出張所 ☎ 0240-38-2119

仮設住宅への入居者募集(継続)

1.募集物件 (2月13日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	2 K	15戸	飯坂町平野字内小原田 8-1
	3 K	15戸	
	計	30戸	
郡山市	1 K	4戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4 (3 Kはペットゾーンのみ)
	2 K	10戸	
	3 K	1戸	
	計	15戸	
	1 K	1戸	日和田町高倉字諏訪前82
	2 K	9戸	
	3 K	11戸	
	計	21戸	
白河市	1 K	2戸	郭内151
	2 K	24戸	
	3 K	19戸	
	計	45戸	
いわき市	3 K	1戸	南台 3丁目 1-1
	計	1戸	

2.募集締切 当分の間受付をします。

窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

3.応募方法

双葉町仮設住宅入居申請(抽選申込)書に必要事項を記入の上、双葉町福島支所へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※3 Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4.入居時期 入居決定次第順次入居可能

5.入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長平成26年3月31日まで

6.その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、応募多数の場合は抽選となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※電気、水道、ガス料金、食費などの経費は入居者の負担となります。

〔問い合わせ先〕 双葉町福島支所 ☎ 024-973-8090 F A X 024-933-5124

ぼくの夢・わたしの夢



双葉南小学校6年 ^{あいざわ} 愛沢 ^{ゆうか} 優佳 さん
(現在:埼玉県加須市立騎西小学校)

私の将来の夢は、保育士になって自分の保育園を持つことです。その理由は、小さな子どもたちとふれあうのが楽しいし、お世話をするのが好きだからです。私が目標としている先生は、保育園の時に教わった先生です。その先生のように、優しく子どもたちに慕われる先生になりたいです。小さい子の親が安心して預けられるような温かくて楽しく過ごせるみんなの家みたいな保育園をつくりたいです。

あこがれの先生に近づくためにこれからがんばりたいことは、勉強をたくさんし、小さい子とふれあい、ピアノを弾けるようにすることです。今まで習っていたピアノを震災以降やめてしまったので、また習いたいと思います。

色々なことをたくさん身につけて、みんなから信頼される先生になりたいです。

国内外の皆さまから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをいただいています

▶ 1月22日新潟市中央区にお住まいの小杉秀一様より義援金をいただきました。



^{すずき} 鈴木 ^{たかあき} 孝明 くん(10カ月)とお母さんの七瀬さん(長塚二)

毎日楽しく過ごしています。

▲ 現在、いわき市にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成25年2月1日現在)

- ・ 福島県内に避難されている方 3,728 人
- ・ 福島県外に避難されている方 3,222 人

相続登記はお済みですか？

ー相続の相談は司法書士にお任せくださいー

司法書士の取り扱い業務…土地・建物の登記、相続・遺言、会社の登記、成年後見、訴訟の代理・書類作成、法律・手続き相談など

福島県司法書士会 ☎024-534-7502



◀ 2月12日、埼玉県上尾市立上尾中央小学校4、5、6年の児童の皆さんから支援メッセージをいただきました。

双葉町では、町民の皆さまの **所在の把握** を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や借り上げ住宅、仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内
☎0480-73-6880 FAX 0480-73-6926
✉saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎024-973-8090 FAX 024-933-5120
✉fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>

連絡先